

森ノ宮医療大学大学院

2026年度
学生募集要項

保健医療学研究科

■ 保健医療学専攻【修士課程】

Master Course of Health Sciences

■ 医療科学専攻【博士後期課程】

Doctoral Course of Medical Sciences

■ 看護学専攻【博士前期課程】

Master Course of Nursing

■ 看護学専攻【博士後期課程】

Doctoral Course of Nursing

森ノ宮医療大学大学院

2026年度 学生募集要項

INDEX

【修士課程・博士前期課程】

■ アドミッションポリシー・専攻概要	02
■ 入学試験実施要項	03
■ 出願の流れ	05
■ 学費	06
■ 主な特別研究指導教員 保健医療学専攻 修士課程	07
■ 主な特別研究指導教員 看護学専攻 博士前期課程	08

【博士後期課程】

■ アドミッションポリシー・専攻概要	09
■ 入学試験実施要項	10
■ 出願の流れ	12
■ 学費	13
■ 主な特別研究指導教員 医療科学専攻 博士後期課程	14
■ 主な特別研究指導教員 看護学専攻 博士後期課程	15

■ 出願書類つづり

- | | | |
|--------|------------------|---------|
| 1 入学願書 | 2 受験料収納証明書 貼付用台紙 | 3 受験票 |
| 4 写真票 | 5 志望理由書 | 6 研究計画書 |
| 7 経歴書 | 8 受験料振込依頼書 | |

アドミッションポリシー・専攻概要

保健医療学専攻 修士課程

アドミッションポリシー

高度な専門的職業人を育成するために、本大学院の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門的知識・技術の修得のために最低限度必要な医療系大学学士レベルの基礎学力、専門知識、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のよう人物像を求めます。

- ①【専門的知識】 保健医療学分野における学士レベルの基礎学力と専門知識を有している。
- ②【他の医療職・医療体系への関心】 患者個別の事情や価値観によってさまざまな医療の選択肢があることを認識し、自分の医療資格の範囲だけでなく他の医療職や医療体系を理解することに強い関心と意欲を有している。
- ③【協働能力とコミュニケーション力】 他者と協働できるコミュニケーション力、思考力、及び判断力を有している。
- ④【学修努力の覚悟】 修士の学位をもつ高度な専門的職業人になるため、知識・技術・人間性を高める努力を惜しまず、最後までやり遂げる覚悟がある。
→入学試験において、上記①を筆記試験、②を出願時提出書類・面接試験、③④を面接試験によって評価する。

禁煙への取り組み

本学では、学生の健康を確保するため、また医療人を育成する大学の責務として、大学全敷地内および大学周辺の全面禁煙化を実施しています。入学者は大学敷地内および大学周辺での喫煙行為を行わないことを約束できる方とします。

取得できる学位

・修士（保健医療学）

募集人員

研究科	専攻	修業年限	募集人員
保健医療学研究科	保健医療学専攻	2年	6名

看護学専攻 博士前期課程

アドミッションポリシー

高度な専門的職業人を育成するために、本大学院の学修内容に強い関心と意欲を有しているのと同時に、専門的知識・技術の修得のために最低限度必要な看護系大学学士レベルの基礎学力、専門知識、さらには主体的な行動力・協働力を兼ね備えて入学してくることを求めています。具体的には以下のよう人物像を求めます。

- ①【専門的知識】 看護学分野における学士レベルの基礎学力と専門知識を有している。
- ②【他の医療職・医療体系への関心】 対象者個別の事情や価値観によってさまざまな医療の選択肢があることを認識し、看護学の範囲だけでなく他の医療職や医療体系を理解することに強い関心と意欲を有している。
- ③【協働能力とコミュニケーション力】 他者と協働できるコミュニケーション力、思考力、及び判断力を有している。
- ④【学修努力の覚悟】 修士の学位をもつ高度な専門的職業人になるため、知識・技術・人間性を高める努力を惜しまず、最後までやり遂げる覚悟がある。
→入学試験において、上記①を筆記試験、②を出願時提出書類・面接試験、③④を面接試験によって評価する。

禁煙への取り組み

本学では、学生の健康を確保するため、また医療人を育成する大学の責務として、大学全敷地内および大学周辺の全面禁煙化を実施しています。入学者は大学敷地内および大学周辺での喫煙行為を行わないことを約束できる方とします。

取得できる学位

・修士（看護学）

募集人員

研究科	専攻	修業年限	募集人員
保健医療学研究科	看護学専攻	2年	9名

入学試験実施要項 修士課程・博士前期課程共通

Ⅰ 出願資格

保健医療学専攻【修士課程】

下記のいずれかに該当するすべての方

- ①大学を卒業、または2026年3月卒業見込みの方
- ②本学大学院が大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方

看護学専攻【博士前期課程】

下記のいずれかに該当するすべての方

- ①大学を卒業、または2026年3月卒業見込みの方で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する方（資格取得見込みの方を含む）
- ②本学大学院が大学を卒業した方と同等の学力があると認めた上で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する方（資格取得見込みの方を含む）

【全専攻共通】

「大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方」とは、森ノ宮医療大学大学院学則に示すとおり、本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めたもので22歳に達した方をいう。また、高度専門士の称号を得た医療系専門学校卒業生等も大学卒業者と同等以上の学力があるとみなすこととする。

資格審査の詳細については入試課（☎ 0120-68-8908）へお問い合わせください。

Ⅰ 日程

専攻	種別	出願期間	試験日	可否通知発送日	入学手続締切日
保健医療学専攻 看護学専攻	一次募集	2025年 8月18日(月)～ 8月22日(金) 締切日必着	9月 1日(月)	9月12日(金)	9月26日(金)
	二次募集	2025年12月10日(水)～ 12月19日(金) 締切日必着	1月 7日(水)	1月16日(金)	2月 2日(月)
	三次募集	2026年 2月 2日(月)～ 2月13日(金) 締切日必着	2月25日(水)	3月 6日(金)	3月19日(木)

定員に達し次第、募集を終了する場合があります。実施の有無については公式WEBサイトで確認してください。

入学試験実施要項 修士課程・博士前期課程共通

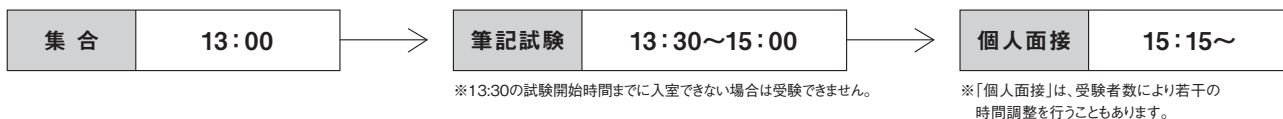
Ⅰ 試験科目および選考方法

合格者は、出願書類、筆記試験、個人面接の結果の総合評価により決定します。

種 別	試験科目	時間配分
一次募集 二次募集 三次募集	筆記試験 英文および小論文含む(英和辞典持込み可、医学系辞典・電子辞書は不可) ※ふせんの貼付、書込があるものは不可	90分
	個人面接	10～20分

Ⅰ 試験当日の流れ

一次～三次募集まですべて下記のとおりです。



Ⅰ 試験会場

森ノ宮医療大学(一次～三次募集まで同様。実施教室は当日発表。)

Ⅰ 合格発表

合否通知は合否通知発送日に、願書記載の住所へ本人宛・速達郵便にて通知いたします。発送日は下記の通りです。

一次募集	2025年 9月12日(金)	二次募集	2026年 1月16日(金)	三次募集	2026年 3月 6日(金)
------	----------------	------	----------------	------	----------------

- 学内掲示、WEB掲載による発表はせず、電話によるお問合せ等にも一切応じられません。
- 合否通知発送日を3日以上経過しても通知が届かない場合は、入試課(☎ 0120-68-8908)へお問合せください。

Ⅰ 入学手続

入学手続の締切日は下記の通りです。

一次募集	2025年 9月26日(金)	二次募集	2026年 2月 2日(月)	三次募集	2026年 3月19日(木)
------	----------------	------	----------------	------	----------------

- 合格者は、入学金および前期学納金(前期授業料+実費)を上記締切日までに納入してください。(学費の詳細は次頁をご参照ください)
- 本学卒業生は入学金を免除します。
- 指定期日以内に納入されない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続の際には、誓約書(保証人を含む)が必要となります。

Ⅰ 入学辞退

入学金・学納金を納入後に入学を辞退する場合は、2026年3月19日(木)15:00までに本学入試課へ申し出を行い、2026年3月27日(金)15:00までに本学所定の入学辞退届を提出し、本学で適正に受理した場合、入学金を除く学納金を返戻します。

出願の流れ 修士課程・博士前期課程共通

1. 出願前の教員面談

P.07～08を確認の上、指導を希望する教員と面談またはメール等で連絡をとり、研究計画が実行可能であるか**必ず事前に**相談を行ってください。

2. 受験料の納入 ※必ず出願前に納入してください。

【受験料】 30,000円

【納入方法】

本冊子に綴られている「**8**受験料振込依頼書」を使用し、銀行（全国の都銀・地銀・信用金庫）の窓口にて納入してください。

※ただし、ゆうちょ銀行からの振込みはできません。

収納証明書に収納印が押されていることを確認した上で、出願書類の「**2**受験料収納証明書 貼付用台紙」に必ず貼付してください。

3. 出願書類の作成・準備

1～**8**は本紙に綴られています。**A**～**D**の書類等は、各自ご用意ください。

書類名	摘 要
1 入学願書	写真(4cm×3cm、無帽、上半身、撮影3ヵ月以内)の裏に氏名を記入し、所定の欄に貼付。 ※専門学校を卒業の方は「出願資格に該当する出身大学・大学院等」の「その他」に学校名を記入してください。
2 受験料収納証明書貼付用台紙	8 受験料振込依頼書の「受験料収納証明書」に、収納印、氏名の記入があることを確認して貼付。
3 受験票	氏名を記入し、試験種別の該当欄をチェック。 受験票の送付先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
4 写真票	写真(4cm×3cm、無帽、上半身、撮影3ヵ月以内)の裏に氏名を記入し、所定の欄に貼付。
5 志望理由書	本学大学院を志望する動機を記入してください。
6 研究計画書	所定の項目を全て記入してください。
7 経歴書	現在までの経歴と取り組んだ活動を記入してください。
A 410円分の切手 (受験票送付用)	受験票を送付する返信用の切手「410円分(110円切手+300円切手)」を同封してください。 ※郵便料金が改定された場合は、改定された金額(25g以下の定形郵便料金+速達料金)の切手を同封してください。
B 卒業・修了(見込み)証明書 または学位取得(見込み)証明書	出身大学(4年制専門学校の場合は専門学校)において3ヵ月以内に作成されたもの。
C 成績証明書	出身大学(4年制専門学校の場合は専門学校)において3ヵ月以内に作成されたもの。 大学院修了(見込み)の方は、学部と大学院の両方を提出してください。 ※成績証明書が出ない場合は、出身大学(4年制専門学校の場合は専門学校)に「成績証明書が出ない旨の書類」を発行してもらい、提出してください。
D 保健師、助産師、看護師 免許証の写し等 (看護学専攻のみ)	保健師、助産師、看護師免許証の写し、または保健師、助産師、看護師国家試験受験資格取得(見込み)証明書。 ※保健師、助産師、看護師免許証の写しはA4サイズでコピーすること。 ※保健師、助産師、看護師国家試験受験資格取得(見込み)証明書は出身大学等の学長又は学部長等が3ヵ月以内に作成したもの。 ※保健師、助産師、看護師国家試験受験資格取得(見込み)証明書が発行されないときは、卒業見込み証明書をもって代えることができる。(なお、取得見込者は、取得後写しを提出)

【注意事項】

- 外国籍を有する方で、提出書類が外国語で記入された証明書・文書・資料等となる場合には、日本語訳(在日公館等で証明済みのもの)を添付。
- 証明書等と志願者の氏名表記が異なる場合、氏名の変更内容が分かる書類「戸籍個人事項証明書(戸籍抄本)等」を併せて提出。
- 出願書類は折り曲げないように注意してください。

4. 出願書類の送付

【送付先住所】

〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16 森ノ宮医療大学 入試課 宛

- ①角2封筒の表面に朱書きで「大学院入学願書在中」と記載
- ②記入漏れ・写真の貼付漏れがないか再度確認
- ③出願締切日必着で簡易書留にて郵送

【注意事項】

提出された出願書類と納入された受験料は、理由のいかんにかかわらず返戻いたしませんのでご了承ください。

学 費 修 士 課 程 ・ 博 士 前 期 課 程

保健医療学専攻【修士課程】・看護学専攻【博士前期課程】

		1 年 次		2 年 次	
		前 期	後 期	前 期	後 期
(単位：円)					
入 学 金		200,000	—	—	—
授 業 料		❶ 350,000	350,000	350,000	350,000
小 計		550,000	350,000	350,000	350,000
実 費 (委託徴収金)	校友会費(初年度のみ)	20,000		—	
	学生会(学生支援費半期分)	10,000	10,000	10,000	10,000
小 計		❷ 40,000		20,000	
年 間 合 計		940,000		720,000	
初年度前期学納金(入学金は除く)		380,000（前期授業料❶＋実費❷※） ※ただし、学生会費の後期分 10,000円を除いた額			

主な特別研究指導教員 保健医療学専攻 修士課程

願書提出前に、研究指導を希望する教員に直接メール等で相談してください。
入試課宛 (exam@morinomiya-u.ac.jp) にメールを送信していただくと、希望の担当教員に転送いたします。
また教員の研究領域は本学公式WEBサイト教員データベース (<https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/kyoin.php>) のページでも詳細を掲載しております。

教員名	主な研究テーマ
角田 晃啓	主として糖尿病患者を対象に、運動療法やその他の介入を通じた効果的な健康増進プログラムの開発を目指す。
河西 謙吾	超音波エコーによる軟部組織・末梢神経を可視化および定量的な評価方法の開発と運動器疾患の保存例や術後例を対象にした機能障害の解明や従来の運動療法の効果検証を学ぶ。また、Virtual Realityなどの最新技術を応用した運動療法の効果検証に取り組む。
工藤 慎太郎	運動器系理学療法における評価方法や理学療法の効果を解剖学および生体力学的手法を用いて解析し、新たな理学療法を考案する。
澤田 優子	対象特性に合わせた評価、介入方法、および効果判定について、文献研究、調査研究、実験研究など研究手法を組み合わせる方法で学ぶ。
堤 真大	解剖学の知見・生体画像（超音波・MRIなど）を基盤とした新たな理学療法評価・介入を考案し、その効果を分析する研究。
堀 竜次	呼吸・循環・嚥下機能について種々の生体信号から解析し、新たな内部障害理学療法技術の開発を目的とする。①誤嚥性肺炎発症リスクについて、呼吸と嚥下の協調性からの解明、②呼吸コンディショニング効果の解明、③心不全および脳卒中の離床リスクの解明のいずれかの研究を行う。
前田 薫	ヒトの立位姿勢制御において、種々の要因が脳活動、筋活動および関節運動にどのような影響をおよぼすのかを神経生理学的手法と生体力学的手法を用いて検討する。その成果をもとに、立位姿勢制御に障害を有する患者の評価および障害の軽減のための手法開発を試みる。
塚越 千尋	脳損傷後の“見えない障害”、特に「自己認識」「易疲労」「社会的認知障害」等に焦点を当て、それらの神経基盤を調査するとともにリハビリテーション手法の開発をめざす。
橋本 弘子	様々な疾患に対し、リハビリテーションとして実施するダンスがどのような効果をもたらすのかを研究（ニューロダンス）。また、脳機能と心・行動特性・身体機能との関係性、そこから起こる問題が生活におよぼす影響、自分らしく生きるために必要な作業療法の支援について介入研究や質的研究で検証する。
松下 太	老年期のリハビリテーションやケアに関連する研究を中心に行う。特に認知症予防、認知症の人に対する非薬物療法やQOL、あるいは認知機能などに焦点を当て、時に近赤外イメージング装置（fNIRS）を用いた実験研究を行い、認知機能と脳機能との関連を明らかにし、根拠ある老年期のリハビリテーションやケアの開発に取り組む。
由利 緑巳	【専門分野】地域作業療法学、作業分析学、老年期障害学 ※研究指導内容についてはご相談ください。
小林 彩香	細胞検査士資格取得における視線解析を活用した教育プログラムの研究を行っている。
小宮山 恭弘	臨床検査で取り扱うMRIの原理や撮影方法と超音波検査の測定原理、CTやMRIなどの画像診断との違いについて学ぶ。また循環器領域や腹部消化管領域、乳腺や甲状腺などの体表領域について疾患毎の画像的特徴を学ぶ。
関根 将	①国内の寄生虫（衛生害虫含む）についての疫学研究、②臨床検査技師を目指す学生へ向けた効率的な寄生虫学教育法についての研究
藤原 牧子	①血液疾患に関する臨床検査について検査法の改良や精度向上及び応用範囲の開拓、②臨床検査技師の卒後教育環境の充実を目的としたテーマに取り組んでいる。
森 誠司	がんの浸潤・転移の分子メカニズムについて研究を行っている。がん特有な微小環境を解析し、がんの予後予測や治療標的の探索につなげる。
脇 英彦	循環器疾患の画像検査学の有用性を明らかにする。超音波画像と心腔内血流から得られた情報から心不全の診断に寄与することを目的としている。肝疾患では、超音波造影剤を用いることで腫瘍の微小循環を評価し、CT、MRIより得られた画像と融合させて集学的治療の概念を学ぶ。
稲田 慎	心筋の細胞または組織レベルにおける活動電位を再現するコンピュータシミュレーションを実行し、電気生理学現象の機序を解明する。
加納 寛也	①心臓血管外科手術に関わる人工心臓に対する研究、②大動脈手術と血液凝固線溶系についての研究、③周術期管理における臨床工学士の役割・機器管理について学ぶ。
辻 義弘	血液浄化と生体信号計測解析の両方の分野にまたがる学際的なテーマに取り組んでいる。人間の行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を調べ、人間の感性という主観的で論理的に説明しにくい反応を科学的手法によって説明する。
中沢 一雄	①不整脈を中心とした循環器疾患の理解および解明を目的として、特に心臓モデルの作成あるいはコンピュータシミュレーションを用いた工学的研究を進める。②医療分野におけるヒューマン・コンピュータ・インタラクションの研究として、種々の医療情報を組合せ有効な改善方法を検討し、新規システムの提案や創成を図る。
原 良昭	臨床における有用なエビデンス構築のためにデータ処理・統計処理の手法全般について学ぶ。また、安全な医療のために医療機器における情報セキュリティ対策についても学ぶ。
布江田 友理	学生教育に焦点をあて、シミュレーション教育やICT教育の教材作成を考えている。現在は、拡張現実を用いた医療機器保守点検技術支援プログラムの構築を行っている。
藤江 建朗	①心臓自律神経系活動を使用したヒトの生理機能状態の評価に関する研究、②人工呼吸器の安全管理、③機種ごとの性能評価や教育法に関する研究
今井 信也	放射線被ばくの低減方法やそれらに関連した医療機器の開発を行っている。特に水晶体への被ばくについて様々な機器で測定を行い、次世代型放射線防護メガネの開発に着手している。
奥村 雅彦	強度変調放射線治療など高精度放射線治療に必要な放射線物理学、放射線計測学に関する知識を学び、理解を深めるとともに、放射線治療専門技師に求められる放射線技術を習得する。
小縣 裕二	より短時間で、より安全で、より優しい放射線画像検査を実践するために、モダリティーごとに撮影から画質評価および画像情報の定量化について学ぶ。
垣本 晃宏	タスクシフトに伴う放射性医薬品投与遭遇におけるVRトレーニング教材の開発、および操作時の緊張感と学習効果の関連性を調査している。
木下 尚紀	投与線量の正確性の向上を目指すため、外部放射線治療の疑わしさを定量化の方法を確立し、その疑わしさを主たる要因を明らかにする。
高木 聡志	医療画像に対する画像処理の研究を指導する。深層学習を用いて新しいイメージング法や診断・検査支援を目的とした研究を実施する。各種がん検診の診断性能を向上させるための最適な画像処理に関する研究を実施する。
西浦 素子	マンモグラフィをはじめとする乳腺の医用画像解析および被ばく線量低減の検討、乳がん啓発、プレスト・アウェアネスに関する研究を主に進めている。
星野 貴志	X線CTにおいて診断のために必要な画質を保ちつつ被ばく線量を最小限にできる画像解析・処理方法を考案する。また新たな造影テクニックを考案することで最適化された検査技術の構築を目指す。
山口 功	診療放射線技術学を医療の中で活かすため、医学と理工学の懸け橋としての学問体系に基づき、調査・研究・開発を行う。特にX線CTにおける非侵襲的生体イメージング法および解析法の開発と画像評価に取り組む。
山本 浩一	倦怠感・不快感の定量評価法の開発を通じて、悪心・嘔吐・倦怠感の発症機序の解明を目指している。また、これらの症状を取り除くための新規治療法の開発を行動薬理学の観点から進めている。
渡邊 翔太	X線CT画像および核医学画像の画質評価を行い、最適な画像再構成・補正方法を導出する。他に診断精度向上に向けた新たな画像処理方法や画質評価手法の考案にも取り組む。
小田 啓之	①過去にスポーツ傷害を受傷した経験のある方を対象としたダイナミックな身体運動中の筋・腱メカニクスに関する研究、②スポーツ現場で応用可能な高強度インターバルトレーニングの開発
鍋田 智之	睡眠障害に対する鍼灸セルフケアの効果について研究を進めている。近年は睡眠障害の改善がアスリートの認知反応能力や生活習慣病（高血圧など）、美容（肌評価）などにも有用かについて研究分野を広げている。
信江 彩加	身体運動やスポーツパフォーマンスを決定づける神経・筋・腱の形態と機能メカニクス解明のための基礎研究と、神経・筋生理学や生体力学を活用した生体計測、動作解析、トレーニング科学にデータサイエンスを融合した実践的研究。
松熊 秀明	①ランダム化比較試験を用いた睡眠障害に対する灸治療効果に関する基礎的研究、②eスポーツ選手に対する鍼灸治療の効果に関する基礎的研究を進めている。

教員名	主な研究テーマ
山下 仁	①補完医療・統合医療・鍼灸の普及や認識の状況調査、②鍼灸の臨床試験における適切な対照群の開発とその妥当性の検証、③鍼灸の安全性に関する情報分析、④システムレビューからみた鍼灸の有効性・安全性・経済性のエビデンス、のいずれかを行う。
五十嵐 淳介	血管新生の調節を介した循環器疾患新規治療法の開発。具体的には①受容体情報伝達機構の解析、②新規化合物の作出と作用の解析、③病態モデルにおける検討
井手口 範男	感覚・知覚・認知に関するヒトの反応特性について扱う。主に視覚系（特に運動視）の問題を、精神物理（心理物理）学的測定法を用いた実験心理学的手法によって検討を行う。
川畑 浩久	骨・関節組織の修復過程や関節疾患の病態解析、物理療法や運動療法などの有効性について組織学的・分子生物学的手法をもちいて検証する。
中原 英博	①呼吸循環代謝システムの長期トレーニング適応における順序発現機構の解明、②鍼通電刺激を用いた心臓血管疾患リスク軽減のための外部制御システムの探索。
松崎 伸介	①タンパク質修飾機構を介した神経変性疾患新規治療法の開発、②炎症制御・サイトカイン制御による創傷治癒・皮膚再生治療への応用、③疲労回復における水素発生ピーズの効果の検証、④鍼灸治療効果点の分子メカニズム解明、を進めている。
森谷 正之	咀嚼、嚥下、呼吸など生命維持の根幹に関わる運動機能を制御している神経ネットワークについて、神経解剖学的視点から解明することを目指す。
小川 泰弘	【専門分野】精神作業療法学 ※研究指導内容についてはご相談ください。

主な特別研究指導教員 看護学専攻 博士前期課程

願書提出前に、研究指導を希望する教員に直接メール等で相談してください。

入試課宛(exam@morinomiya-u.ac.jp)にメールを送信していただくと、希望の担当教員に転送いたします。

また教員の研究領域は本学公式WEBサイト教員データベース(<https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/kyoin.php>)のページでも詳細を掲載しております。

教員名	分 野	主な研究テーマ
内田 宏美	看護管理学 看護教育学	①アクションリサーチによる医療安全管理者のスキルアップ支援 ②看護師・看護管理者のキャリア・ディベロップメントと支援
下岡 ちえ	看護教育学	①看護実践能力の発展過程と臨床継続教育 ②看護基礎教育における医療安全教育
吉村 弥須子	急性 慢性 がん看護学	①手術を受けるがん患者のQOL向上のための医療支援 ②臓器移植患者のQOL向上のための医療支援
外村 昌子	老年看護学	①認知症高齢者のタッチケア ②ノーリフトケアの効果 ③高齢者の認知症・介護予防プログラムの開発
西山 忠博	精神看護学	①効果的な模擬患者参加型教育 ②精神科訪問看護業務の可視化
武 ユカリ	在宅看護学	①在宅ケアにおける暴力・ハラスメント対策 ②医療・在宅ケアにおける臨床倫理コンサルテーション
川添 英利子	老年看護学	①要介護高齢者に安全な食事環境を提供するための支援のあり方 ②口腔保湿対策による口腔潤度の変化 ③寝たがり高齢者の口腔機能と認知機能、栄養状態との関連
関口 敏彰	公衆衛生看護学	①健康寿命の延伸に関する要因分析・介入効果の検証 ②子ども虐待（Child Maltreatment）の予防効果の検証
森 美侑紀	統合医療	①植物精油の生体への作用に関する組織学的・分子生物学的検討 ②アロマセラピーの有効性と安全性の検討
渡邊 敦子	看護教育学	①看護師・看護学生の自己理解・他者理解を深める方法 ②看護学教育・継続教育
久木元 由紀子	急性 慢性 がん看護学	①補完療法の導入による看護ケアの効果 ②終末期ケアに関する教育
寺田 美和子	老年看護学	①認知症の人のためのカフェが当事者とその家族に及ぼす影響 ②高齢者の受診前保健行動
小林 妙子	成人看護学 (急性期)	①医療現場における対人支援者の倫理構造 ②看護師の職業観と職業性ストレスの関係 ③災害現場の遺族支援
岩佐 由美	在宅看護学	①難病患者の療養支援 ②ケアの可視化と専門的看護の構築
齋藤 雅子	育成看護学	①周産期の女性と家族の健康支援 ②虐待防止 ③リスクのある周産期親子の支援
勝田 真由美	育成看護学	①性教育 ②産後うつへの支援 ③中高年女性への健康教育

アドミッションポリシー・専攻概要

医療科学専攻 博士後期課程

アドミッションポリシー

医療科学の分野について、医療における高度に専門的な臨床業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養い、医療系の臨床施設あるいは教育研究施設において指導的役割を担う人材を育成することを目的としています。そのような人材となり得る資質を有する学生を選抜するため、次のような入学者を受け入れる方針を設定しています。

- ①【基礎的な論文読解能力】自分が専攻しようとしている領域の日本語と英語の先行研究論文の読解・解釈ができる基礎的な知識と技術を有している。
- ②【基本的な文章構成能力】自分の考えを論理的にまとめて文章表現できる基本的な知識と技術を有している。
- ③【医療科学研究への熱意】臨床に役立つ医療科学の研究に専念して、人々の健康に貢献したいという強い熱意と意志をもっている。
- ④【指導者・管理者としての自覚】医療分野における指導者あるいは管理者となって人材の育成や臨床・教育・研究の発展に身を捧げる覚悟がある。
→入学試験において、上記①を論文読解試験、②を小論文試験、③④を出願時提出書類・面接試験によって評価する。

禁煙への取り組み

本学では、学生の健康を確保するため、また医療人を育成する大学の責務として、大学全敷地内および大学周辺の全面禁煙化を実施しています。入学者は大学敷地内および大学周辺での喫煙行為を行わないことを約束できる方とします。

取得できる学位

・博士(医療科学)

募集人員

研究科	専攻	修業年限	募集人員
保健医療学研究科	医療科学専攻	3年	2名

看護学専攻 博士後期課程

アドミッションポリシー

看護学教育研究者を育成するために看護学専攻博士前期課程(看護学修士課程)における学修や看護専門職としてのキャリアを通して、以下の能力・資質を備えて入学してくることを求めています。

- ①【高度な実践力】自己の活動する領域において、常に専門性とevidenceに基づいた看護実践を志向し、看護専門職者として実践に活用することができる力。
- ②【マネジメント力】臨床看護の質を査定し、チームの力を活用して論理的・計画的に課題の解決を図り、看護の質向上を図ることができる力。
- ③【協働推進力】自己が活動する領域から関連する他領域、他職種、国外へと繋がる連携力をもち、活動チーム内において専門職としてのリーダーシップを発揮する力。
- ④【教育推進力】保健医療関連機関や看護基礎教育機関等において、当該機関の理念や目的を認識し、クライアントに対する教育的関わりだけでなく、同僚や学生に対する教育的機能を発揮することができる力。
- ⑤【臨床研究推進力】自己の活動する領域において、医療看護の質向上のための研究ニーズを見出し、倫理的・科学的に適切な方法により研究を推進し、その成果を看護実践に反映させることのできる力。
→入学試験において、上記①を論文読解試験、②を小論文試験、③④⑤を出願時提出書類・面接試験によって評価する。

禁煙への取り組み

本学では、学生の健康を確保するため、また医療人を育成する大学の責務として、大学全敷地内および大学周辺の全面禁煙化を実施しています。入学者は大学敷地内および大学周辺での喫煙行為を行わないことを約束できる方とします。

取得できる学位

・博士(看護学)

募集人員

研究科	専攻	修業年限	募集人員
保健医療学研究科	看護学専攻	3年	2名

入学試験実施要項 博士後期課程

出願資格

医療科学専攻【博士後期課程】

次の各号のいずれかに該当する者または該当する見込みのある者。

- ①修士の学位や専門職学位を有する者
- ②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者
- ⑦本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた上で、入学の年度当初において24歳に達した者

看護学専攻【博士後期課程】

次の各号のいずれかに該当する者または該当する見込みのある者。

- ①修士の学位や専門職学位を有する者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者
- ②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者
- ③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者
- ④我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学(大学院相当)日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者
- ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者
- ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者
- ⑦本大学院において、個別の入学資格審査により修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた上で、入学の年度当初において24歳に達した者で、保健師、助産師、看護師いずれかの資格を有する者

資格審査の詳細については入試課（☎ 0120-68-8908）へお問い合わせください。

日程

専攻	種別	出願期間	試験日	可否通知発送日	入学手続締切日
医療科学専攻	一次募集	2025年12月10日(水)～ 12月19日(金) 締切日必着	1月 7日(水)	1月16日(金)	2月 2日(月)
看護学専攻	二次募集	2026年 2月 2日(月)～ 2月13日(金) 締切日必着	2月25日(水)	3月 6日(金)	3月19日(木)

定員に達し次第、募集を終了する場合があります。実施の有無については公式WEBサイトで確認してください。

入学試験実施要項 博士後期課程共通

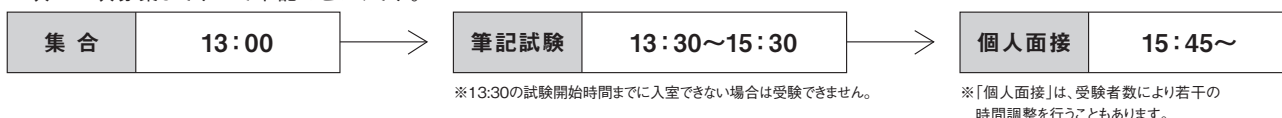
Ⅰ 試験科目および選考方法

合格者は、出願書類、論文読解試験、小論文試験、面接試験の結果の総合評価により決定します。

種 別	試験科目	時間配分
一次募集 二次募集	論文読解・小論文試験 論文読解は英語及び日本語、小論文は日本語 (英和辞典持込み可、医学系辞典・電子辞書は不可) ※ふせんの貼付、書込があるものは不可	120分
	面接試験	20～30分

Ⅰ 試験当日の流れ

一次～二次募集まですべて下記のとおりです。



Ⅰ 試験会場

森ノ宮医療大学(一次～二次募集まで同様。実施教室は当日掲示にて発表。)

Ⅰ 合格発表

可否通知は可否通知発送日に、願書記載の住所へ本人宛・速達郵便にて通知いたします。発送日は下記の通りです。

一次募集	2026年 1月16日(金)	二次募集	2026年 3月 6日(金)
------	----------------	------	----------------

- 学内掲示、WEB掲載による発表はせず、電話によるお問合せ等にも一切応じられません。
- 可否通知発送日を3日以上経過しても通知が届かない場合は、入試課(☎ 0120-68-8908)へお問合せください。

Ⅰ 入学手続

入学手続の締切日は下記の通りです。

一次募集	2026年 2月 2日(月)	二次募集	2026年 3月19日(木)
------	----------------	------	----------------

- 合格者は、入学金および前期学納金(前期授業料+実費)を上記締切日までに納入してください。(学費の詳細はP.13をご参照ください)
- 本学園卒業生は入学金を免除します。
- 指定期日内に納入されない場合は、入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続の際には、誓約書(保証人を含む)が必要となります。

Ⅰ 入学辞退

入学金・学納金を納入後に入学を辞退する場合は、2026年3月19日(木)15:00までに本学入試課へ申し出を行い、2026年3月27日(金)15:00までに本学所定の入学辞退届を提出し、本学で適正に受理した場合、入学金を除く学納金を返戻します。

出願の流れ 博士後期課程共通

1. 出願前の教員面談

P.14～15を確認の上、指導を希望する教員と面談またはメール等で連絡をとり、研究計画が実行可能であるか**必ず事前に**相談を行ってください。

2. 受験料の納入 ※必ず出願前に納入してください。

【受験料】 30,000円

【納入方法】

本冊子に綴られている「**8**受験料振込依頼書」を使用し、銀行（全国の都銀・地銀・信用金庫）の窓口にて納入してください。

※ただし、ゆうちょ銀行からの振込みはできません。

収納証明書に収納印が押されていることを確認した上で、出願書類の「**2**受験料収納証明書 貼付用台紙」に必ず貼付してください。

3. 出願書類の作成・準備

1～**8**は本紙に綴られています。**A**～**D**の書類等は、各自ご用意ください。

書類名	摘 要
1 入学願書	写真（4cm×3cm、無帽、上半身、撮影3ヵ月以内）の裏に氏名を記入し、所定の欄に貼付。 ※専門学校を卒業の方は「出願資格に該当する出身大学・大学院等」の「その他」に学校名を記入してください。
2 受験料収納証明書貼付用台紙	8 受験料振込依頼書の「受験料収納証明書」に、収納印、氏名の記入があることを確認して貼付。
3 受験票	氏名を記入し、試験種別の該当欄をチェック。 受験票の送付先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。
4 写真票	写真（4cm×3cm、無帽、上半身、撮影3ヵ月以内）の裏に氏名を記入し、所定の欄に貼付。
5 志望理由書	本学大学院を志望する動機を記入してください。
6 研究計画書	所定の項目を全て記入してください。
7 経歴書	現在までの経歴と取り組んだ活動を記入してください。
A 410円分の切手 （受験票送付用）	受験票を送付する返信用の切手「410円分（110円切手+300円切手）」を同封してください。 ※郵便料金が改定された場合は、改定された金額（25g以下の定形郵便料金+速達料金）の切手を同封してください。
B 修了（見込み）証明書 または学位取得（見込み）証明書	出身大学院において3ヵ月以内に作成されたもの。
C 成績証明書	出身大学院において3ヵ月以内に作成されたもの。 ※成績証明書が出ない場合は、出身大学院に「成績証明書が出ない旨の書類」を発行してもらい、提出してください。
D 保健師、助産師、看護師 免許証の写し等 （看護学専攻のみ）	保健師、助産師、看護師免許証の写しまたは保健師、助産師、看護師国家試験受験資格取得（見込み）証明書。 ※保健師、助産師、看護師免許証の写しはA4サイズにすること。 ※保健師、助産師、看護師国家試験受験資格取得（見込み）証明書は出身大学等の学長又は学部長等が作成したもの（発行日から3ヵ月以内のもの）。 ※保健師、助産師、看護師国家試験受験資格取得（見込み）証明書が発行されないときは、卒業見込み証明書をもって代えることができる。（なお、取得見込者は、取得後写しを提出）

【注意事項】

- 外国籍を有する方で、提出書類が外国語で記入された証明書・文書・資料等（英語論文を除く）となる場合には、その日本語訳（在日公館等で証明済みのもの）を添付してください。
- 証明書等と志願者の氏名表記が異なる場合、氏名の変更内容が分かる書類「戸籍個人事項証明書（戸籍抄本）等」を併せて提出してください。
- 出願書類は折り曲げないように注意してください。

4. 出願書類の送付

【送付先住所】

〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北1-26-16 森ノ宮医療大学 入試課 宛

①角2封筒の表面に朱書きで「大学院入学願書在中」と記載

②記入漏れ・写真の貼付漏れがないか再度確認

③出願締切日必着で簡易書留にて郵送

【注意事項】

提出された出願書類と納入された受験料は、理由のいかんにかかわらず返戻いたしませんのでご了承ください。

学 費 博士後期課程共通

(単位:円)

		1 年 次		2 年 次 / 3 年 次	
		前 期	後 期	前 期	後 期
入 学 金		200,000	—	—	—
授 業 料	①	350,000	350,000	350,000	350,000
小 計		550,000	350,000	350,000	350,000
実 費 (委託徴収金)	校友会費(初年度のみ)	20,000		—	
	学生会(学生支援費半期分)	10,000	10,000	10,000	10,000
小 計		② 40,000		20,000	
年 間 合 計		940,000		720,000	

初年度前期学納金(入学金は除く)	380,000 (前期授業料①+実費②※) ※ただし、学生会費の後期分 10,000円を除いた額
------------------	--

主な特別研究指導教員 医療科学専攻 博士後期課程

願書提出前に、研究指導を希望する教員に直接メール等で相談してください。

入試課宛 (exam@morinomiya-u.ac.jp) にメールを送信していただくと、希望の担当教員に転送いたします。

また教員の研究領域は本学公式WEBサイト教員データベース (<https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/kyoin.php>) のページでも詳細を掲載しております。

教員名	主な研究テーマ
工藤 慎太郎	新たなテクノロジーを複合的に用いた理学療法の効果判定に関する研究。特に、超音波、センシング技術、仮想現実を組み合わせた基礎研究や臨床研究に取り組む。
澤田 優子	新生児から高齢者が地域で自分らしく生活を継続できる社会を実現するための支援方法について、コホート研究を活用して検証する方法を学ぶ。
堀 竜次	【専門分野】リハビリテーション科学（内部障害）、生理学（呼吸・循環） ※研究指導内容についてはご相談ください。
前田 薫	【専門分野】リハビリテーション科学、福祉工学（キーワード：姿勢制御） ※研究指導内容についてはご相談ください。
小川 泰弘	精神障害のリハビリテーションに関する研究を行う。①統合失調症の病識や、②精神科デイケアの居場所感と孤独感など精神障害者の主観的な側面を理解し、それを支援に生かすための研究に取り組む。
塚越 千尋	脳損傷後の“見えない障害”、特に「自己認識」「易疲労」「社会的認知障害」等に焦点を当て、それらの神経基盤を調査するとともにリハビリテーション手法の開発をめざす。
橋本 弘子	様々な疾患に対し、リハビリテーションとして実施するダンスがどのような効果をもたらすのかを研究（ニューロダンス）。また、脳機能と心・行動特性・身体機能との関係性、そこから起こる問題が生活におよぼす影響、自分らしく生きるために必要な作業療法の支援について介入研究や質的研究で検証する。
松下 太	認知症予防、認知症の人に対する非薬物療法、重度認知症の人の意味のある作業やQOL、認知機能などに焦点を当てた研究に取り組む。
由利 緑巳	「目標設定」をテーマに、ひとが日々営む大切な「作業：Occupation」を多面的に検討し、対象者の生活の質(QOL)の向上や介護予防効果を検証する。
森 誠司	癌の転移について、培養細胞、組織あるいは動物を用いた実験を行い、詳細な分子メカニズムの解明及び診断・治療への応用について検証する。
稲田 慎	心臓の電気的興奮現象を、大規模モデルを構築するとともに、コンピュータシミュレーションを実行し、不整脈の発生・維持の機序ならびに治療方法を検討する。
中沢 一雄	【専門分野】ヒューマンインターフェース・インタラクション、生体医工学・生体材料学、生命・健康・医療情報学 ※研究指導内容についてはご相談ください。
原 良昭	【専門分野】生体計測工学、福祉工学、リハビリテーション工学、教育工学（キーワード：生体計測工学、福祉工学、リハビリテーション工学、教育工学） ※研究指導内容についてはご相談ください。
小縣 裕二	放射線画像検査をモダリティごとに詳細に検討し、医師に客観的な解析結果を提供するコンピュータ支援診断(CAD)システムの構築とその効果を検証する。
西浦 素子	マンモグラフィをはじめとする乳腺の医用画像解析および被ばく線量低減の検討、乳がん啓発、ブレスト・アウェアネスに関する研究を主に進めている。
山口 功	【専門分野】放射線技術学 ※研究指導内容についてはご相談ください。
山本 浩一	【専門分野】薬理学、放射線科学、化学物質影響、放射線影響 ※研究指導内容についてはご相談ください。
山下 仁	鍼灸技法、鍼灸臨床試験の適切な対照群、または過誤・副作用情報収集・発信システムの開発とランダム化比較試験やメタアナリシスなどによる検証。
五十嵐 淳介	血管新生の調節を介した循環器疾患新規治療法の開発。具体的には①受容体情報伝達機構の解析、②新規化合物の作出と作用の解析、③病態モデルにおける検討
川畑 浩久	骨・関節組織の修復過程や関節疾患の病態や治療の有効性に関する分子メカニズムを明らかにしつつ、新規治療概念や方法の開発・構築をめざす。
中原 英博	①呼吸循環代謝システムの長期トレーニング適応における順序発現機構の解明、②鍼通電刺激を用いた、心臓血管疾患リスク軽減のための外部制御システムの探索。
松崎 伸介	①タンパク質修飾機構を介した神経変性疾患新規治療法の開発、②炎症制御・サイトカイン制御による創傷治癒・皮膚再生治療への応用、③疲労回復における水素発生ビーズの効果の検証、④鍼灸治療効果点の分子メカニズム解明、を進めている。
森谷 正之	四肢の運動や感覚を制御する脊髄神経系とは異なるシステムでの構築された口腔顔面領域の運動制御および感覚伝達システムを神経解剖学的アプローチにより検証する。

主な特別研究指導教員 看護学専攻 博士後期課程

願書提出前に、研究指導を希望する教員に直接メール等で相談してください。

入試課宛 (exam@morinomiya-u.ac.jp) にメールを送信していただくと、希望の担当教員に転送いたします。

また教員の研究領域は本学公式WEBサイト教員データベース (<https://www.morinomiya-u.ac.jp/guide/kyoin.php>) のページでも詳細を掲載しております。

教員名	分 野	主な研究テーマ
内田 宏美	看護管理学 看護教育学	①アクションリサーチによる医療安全管理者のスキルアップ支援 ②看護師・看護管理者のキャリア・ディベロップメントと支援
吉村 弥須子	急性 慢性 がん看護学	①手術を受けるがん患者のQOL向上のための医療支援 ②臓器移植患者のQOL向上のための医療支援
外村 昌子	老年看護学	①認知症高齢者のタッチケア ②ノーリフトケアの効果 ③高齢者の認知症・介護予防プログラムの開発
武 ユカリ	在宅看護学	①在宅ケアにおける暴力・ハラスメント対策 ②医療・在宅ケアにおける臨床倫理コンサルテーション
関口 敏彰	公衆衛生看護学	①健康寿命の延伸に関する要因分析・介入効果の検証 ②子ども虐待 (Child Maltreatment) の予防効果の検証
森 美侑紀	統合医療	①植物精油の生体への作用に関する組織学的・分子生物学的検討 ②アロマセラピーの有効性と安全性の検討
下岡 ちえ	看護教育学	①看護実践能力の発展過程と臨床継続教育 ②看護基礎教育における医療安全教育
岩佐 由美	在宅看護学	①難病患者の療養支援 ②ケアの可視化と専門的看護の構築

出願書類つづり

- 1 入学願書
- 2 受験料収納証明書 貼付用台紙
- 3 受験票
- 4 写真票
- 5 志望理由書
- 6 研究計画書
- 7 経歴書
- 8 受験料振込依頼書

個人情報の取り扱いについて

【利用目的】

大学案内パンフレットや入学試験要項等の請求、イベントへの参加、また入学試験の出願にあたってお知らせいただいた住所、氏名、その他個人情報は、以下の目的で利用いたします。

- 大学情報の提供から入試を含む入学までの一連の業務
- 入学後の大学事務業務、各種案内や連絡
- 卒業後の大学・校友会・教育後援会からの各種案内や連絡
- 出身学校への進路指導用資料としての提供

【業務委託に関して】

上記利用目的に関しての業務は、森ノ宮医療大学(以下「大学」といいます)より当該業務の委託を受けたパートナー企業(プライバシーマークを取得またはそれに準ずる規格を取得している企業に限る)において行う場合があります。業務委託パートナー企業に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を目的以外に使用しないことを誓約の上で提供することがあります。あらかじめご了承ください。

大学は、上記委託パートナー企業への提供または以下のいずれかに該当する場合を除き、個人情報を第三者へ開示または提供いたしません。

- ご本人の同意がある場合
- 法令に基づき開示・提供を求められた場合
- 人の生命、身体または財産の保護のために必要な場合であって、ご本人の同意を得ることが困難な場合
- 国または地方自治体等が公的な事務を実施する上で、協力する必要がある場合であって、ご本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合

【開示・訂正等について】

お知らせいただいた住所、氏名その他個人情報の開示は、請求いただいた方がご本人であることを確認させていただいた上で行います。またその結果、個人情報の記載に誤りがある場合は、速やかに訂正を行います。開示・訂正等の請求に関しては所定の手続きがあります。詳細は下記へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

個人情報に関する開示請求の窓口(法人本部学園総務室)
〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16
TEL:06-6616-6911 FAX:06-6616-6912
フリーコール:0120-68-8908
メールアドレス:soumu@morinomiyu-u.ac.jp

記入例

1

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 入学願書

受験番号

※は本学記入欄

専攻種別	☒ 保健医療学専攻【修士課程】 ☐ 看護学専攻【博士前期課程】 ☐ 医療科学専攻【博士後期課程】 ☐ 看護学専攻【博士後期課程】		
試験種別	☒ 一次募集 ☐ 二次募集 ☐ 三次募集		
研究指導希望教員名	山田太郎		
フリガナ	モリノミヤ イチロウ	性別	男・女
氏名	森ノ宮 一郎	年齢	22 歳
生年月日	西暦 2003 年 6 月 1 日	国籍	外国籍の者のみ記入 〒559-8611
現住所	大阪市住之江区南港北●-△△-XX	電話番号	06-6616-6911
送付先 (合否通知等送付先) (注)	〒 月 上	連絡先	携帯電話 メールアドレス
出願資格に該当する出身大学・大学院等	大学 森ノ宮医療大学 保健医療学部 鍼灸学科 専攻 課程 西暦 2026 年 3 月 卒業・卒業見込み 大学院 研究科 専攻 課程 西暦 年 月 修了・修了見込み 大学評価・学位授与機構 学位授与機構名 学位名称 西暦 年 月 取得 その他 (専門学校等)		
医療関係・福祉関係・免許等	西暦 年 月 西暦 年 月 西暦 年 月 西暦 年 月		

【記入上の注意】 ● 黒色のボールペンを使用し、楷書体で正確に記入してください。
● 外国籍を有する方は、国籍および在留資格を確認できる書類で証明した氏名を記入してください。
● 書き損じの場合は二重線を引き、訂正印を押してください。修正テープ等の使用は認められません。

■ 出願書類を提出後、現住所等に変更があった場合は、速やかに入試課 (☎0120-68-8908) まで連絡してください。

注意

出願書類に不備があると受理できません。
黒のボールペンを用いて楷書体でいねいに記入し、書き損じの場合は二重線を引き、訂正印を押してください。
修正液等での訂正は認められません。
記入漏れや写真の貼付忘れ等がないか提出前に入念にご確認ください。

※写真の裏に氏名を記入してから貼付してください。

4

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 写真票

※は本学記入欄

専攻種別	☒ 保健医療学専攻【修士課程】 ☐ 看護学専攻【博士前期課程】 ☐ 医療科学専攻【博士後期課程】 ☐ 看護学専攻【博士後期課程】		
フリガナ	モリノミヤ イチロウ	年齢	22 歳
氏名	森ノ宮 一郎	写真貼付欄	(4cm×3cm) 無帽・上半身 撮影3ヵ月以内

2

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 受験料収納証明書 貼付用台紙

専攻種別	☐ 保健医療学専攻【修士課程】 ☐ 看護学専攻【博士前期課程】 ☐ 医療科学専攻【博士後期課程】 ☐ 看護学専攻【博士後期課程】		
貼付欄			

■ 取扱銀行収納印が押されていることを確認した上で、受け取った「受験料収納証明書」を上貼付欄にのりつけてください。
■ 氏名、収納印のないものは無効とします。
■ 提出時は②～④をそれぞれ切り取って提出してください。

3

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 受験票

受験番号	※は本学記入欄
フリガナ	モリノミヤ イチロウ
氏名	森ノ宮 一郎
専攻種別	☒ 保健医療学専攻【修士課程】 ☐ 看護学専攻【博士前期課程】 ☐ 医療科学専攻【博士後期課程】 ☐ 看護学専攻【博士後期課程】
試験種別	☒ 一次募集 ☐ 二次募集 ☐ 三次募集
試験会場	森ノ宮医療大学 ☎0120-68-8908
① 太枠内に氏名を記入し、専攻種別、試験種別にチェック☑を入れてください。	
② 下記の受験票の送付先欄に郵便番号・住所・氏名を記入してください。	
③ 受験番号のないものは無効です。	
④ 受験票は試験会場に持参し、試験中は机上に置いてください。	
⑤ 試験開始時間の13:30までに入室できない場合は受験できません。	
⑥ 試験会場では試験監督者の指示に従ってください。	
※本学にて切り取ります。	
受験票の送付先	〒559-8611
住所	大阪市住之江区南港北●-△△-XX
氏名	森ノ宮 一郎 様

2、3、4は記入後、キリトリ線に沿って切り離して他の出願書類とともに同封してください。

※氏名を記入し、専攻種別と試験種別の該当欄にチェック☑を入れてください。

※受験票の送付先の郵便番号・住所・氏名を記入してください。

※⑧受験料振込依頼書を使用し、受験料を振込後「受験料収納証明書」に収納印が押されていることを確認した上で②受験料収納証明書貼付用台紙に貼付してください。

1

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科
入学願書

受験番号	※
------	---

※は本学記入欄

専攻種別	☐ 保健医療学専攻【修士課程】	☐ 看護学専攻【博士前期課程】	
	☐ 医療科学専攻【博士後期課程】	☐ 看護学専攻【博士後期課程】	
試験種別	☐ 一次募集	☐ 二次募集	☐ 三次募集

研究指導希望教員名	
-----------	--

フリガナ				
氏名		性別	男 ・ 女	
生年月日	西暦 年 月 日	年齢	歳	
国籍	外国籍の者のみ記入			

現住所	〒	—	連絡先	電話番号	
				携帯番号	
				メールアドレス	
送付先 (合否通知等送付先) (注)	〒	—	(注) 現住所と異なる送付先を希望する場合のみ、記入してください。		

出願資格に該当する 出身大学・大学院等	大学	大学	学部	学科	
		専攻			課程
		西暦	年	月	卒業・卒業見込み
	大学院	大学院	研究科		
		専攻			課程
		西暦	年	月	修了・修了見込み
	大学評価・ 学位授与機構	学位授与機構名			
		学位名称	西暦	年	月
その他 (専門学校等)					

医療関係・ 福祉関係・ 取得資格・ 免許等	西暦	年	月	
	西暦	年	月	
	西暦	年	月	
	西暦	年	月	
	西暦	年	月	

【記入上の注意】 ● 黒色のボールペンを使用し、楷書体で正確に記入してください。
● 外国籍を有する方は、国籍および在留資格を確認できる書類で証明した氏名を記入してください。
● 書き損じの場合は二重線を引き、訂正印を押してください。修正テープ等の使用は認められません。
■ 出願書類を提出後、現住所等に変更があった場合は、速やかに入試課 (☎ 0120-68-8908) まで連絡してください。

受験票

3

受験番号
※

※は本学
記入欄

フリガナ	年 齢
氏 名	歳

■ 専攻種別：受験該当欄にチェック☑を入れてください。

☐ 保健医療学専攻 【修士課程】	☐ 看護学専攻 【博士前期課程】
☐ 医療科学専攻 【博士後期課程】	☐ 看護学専攻 【博士後期課程】

■ 試験種別：受験該当欄にチェック☑を入れてください。

☐ 一次募集	☐ 二次募集	☐ 三次募集
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------

■ 試験会場：森ノ宮医療大学 ☎0120-68-8908

- ① 太枠内に氏名を記入し、専攻種別、試験種別にチェック☑を入れてください。
- ② 下記の受験票の送付先欄に郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- ③ 受験番号のないものは無効です。
- ④ 受験票は試験会場に携帯し、試験中は机の上に置いてください。
- ⑤ 試験開始時間の13:30までに入室できない場合は受験できません。
- ⑥ 試験会場では試験監督者の指示に従ってください。

本学にて切り取ります

■ 受験票の送付先

〒	住 所
---	-----

氏 名	様
-----	---

写真票

4

※は本学記入欄

一次募集	※
二次募集	※
三次募集 (修士課程・博士前期課程のみ)	※

専攻種別	☐ 保健医療学専攻 【修士課程】 ☐ 看護学専攻 【博士前期課程】 ☐ 医療科学専攻 【博士後期課程】 ☐ 看護学専攻 【博士後期課程】
------	---

フリガナ	年 齢
氏 名	歳

写真貼付欄
(4cm×3cm)
無帽・上半身
撮影3ヵ月以内

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 受験料収納証明書 貼付用台紙

専攻種別	☐ 保健医療学専攻【修士課程】 ☐ 医療科学専攻【博士後期課程】	☐ 看護学専攻【博士前期課程】 ☐ 看護学専攻【博士後期課程】
------	---	--

貼 付 欄

キリリ

- 取扱銀行収納印が押されていることを確認した上で、受け取った「受験料収納証明書」を上 の貼付欄にのりづけしてください。
- 氏名、収納印のないものは無効とします。
- 提出時は2～4をそれぞれ切り取って提出してください。

キリリ

5

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

志望理由書

受験番号

※

※は本学記入欄

専攻種別

☐

保健医療学専攻【修士課程】

☐

看護学専攻【博士前期課程】

☐

医療科学専攻【博士後期課程】

☐

看護学専攻【博士後期課程】

フリガナ

氏名

キリトリ

【記入上の注意】

- 黒色のボールペンを使用し、楷書体で正確に記入してください。
- パソコン等により作成する場合は、本様式に直接または本様式に準じて別紙（A4版）に作成してください。
- 書き損じの場合は二重線を引き、訂正印を押してください。修正テープ等の使用は認められません。

6

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科
研究計画書

受験番号

※

※は本学記入欄

専攻種別

☐

保健医療学専攻【修士課程】

☐

看護学専攻【博士前期課程】

☐

医療科学専攻【博士後期課程】

☐

看護学専攻【博士後期課程】

フリガナ

氏

名

志望する研究領域

研究テーマ

研究目的

研究の動機

研究方法

1. 対象

2. 方法

【記入上の注意】

- 黒色のボールペンを使用し、楷書体で正確に記入してください。
- パソコン等により作成する場合は、本様式に直接または本様式に準じて別紙（A4版）に作成してください。
- 書き損じの場合は二重線を引き、訂正印を押してください。修正テープ等の使用は認められません。

7

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

経 歴 書

受験番号

※

※は本学記入欄

専攻種別

- ☐ 保健医療学専攻【修士課程】 ☐ 看護学専攻【博士前期課程】
☐ 医療科学専攻【博士後期課程】 ☐ 看護学専攻【博士後期課程】

フリガナ

氏 名

学 歴

西暦	年	月	高等学校(中等教育学校)卒業
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	

職 歴

西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	
西暦	年	月	

学会および社会における活動経験、その他特記事項等

- 【記入上の注意】
- 黒色のボールペンを使用し、楷書体で正確に記入してください。
 - 大学および大学院は、学部・学科(専攻・課程)および研究科・専攻まで必ず記入してください。
 - 職歴欄は、勤務先・勤務部署・職名等を記入してください。
 - 学会および社会における活動経験、その他特記事項等欄は、経験がある場合はその概要について記入し、経験等が無い場合は「無し」と記入してください。
 - 書き損じの場合は二重線を引き、訂正印を押してください。修正テープ等の使用は認められません。

2026年度 森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科

受験料振込依頼書

- ① 受験料の振込は、本用紙を使用し、銀行（全国の都銀・地銀・信用金庫）の窓口にて納入してください。
※ゆうちょ銀行からの振込はできませんので、ご注意ください。振込手数料は、受験生ご本人の負担となります。
- ② 受け取った収納証明書は、収納印が押されていることを確認した上で、出願書類「受験料収納証明書 貼付用台紙」の貼付欄にのりづけしてください。

コピー

電信扱

振込依頼書（取扱店保管）

科目

依頼日	西暦	年	月	日	電信扱	手数料			
先方銀行	三菱UFJ銀行 今里北支店				金額	¥30000	円		
受取人	預金種目	普通	口座番号	0016599	現金				
	カッコウホウジン モリノミヤイリョウダイガクエン				当手				
	モリノミヤイリョウダイガク				他手				
	学校法人 森ノ宮医療学園				内訳				
受取人	森ノ宮医療大学				氏名				
依頼人（志願者）	整理番号	01			氏名（フリガナ）				
	氏名（漢字）								
	（おところ）				（電話）	様			

取扱銀行 収納印

自動振込機（ATM）取扱不可

取扱銀行へお願い
・赤線枠内は必ず打電してください。
・整理番号は必ず依頼人頭部に打電してください。

振込金領収書（本人保管）

西暦	年	月	日	金額	¥30000	円
先方銀行	三菱UFJ銀行 今里北支店			受取人	学校法人 森ノ宮医療学園	
受取人	森ノ宮医療大学			フリガナ	依頼人 志願者氏名	
手数料				円		

取扱銀行 収納印

上記金額正に領収しました。

〔受験料収納証明書〕

振込金証明書(依頼人→大学送付用)

西暦	年	月	日	金額	¥30000	円
先方銀行	三菱UFJ銀行 今里北支店			受取人	学校法人 森ノ宮医療学園	
受取人	森ノ宮医療大学			フリガナ	依頼人 志願者氏名	
手数料				円		

取扱銀行 収納印

上記金額正に領収しました。

■ 入学試験会場

森ノ宮医療大学

 **0120-68-8908**

〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16

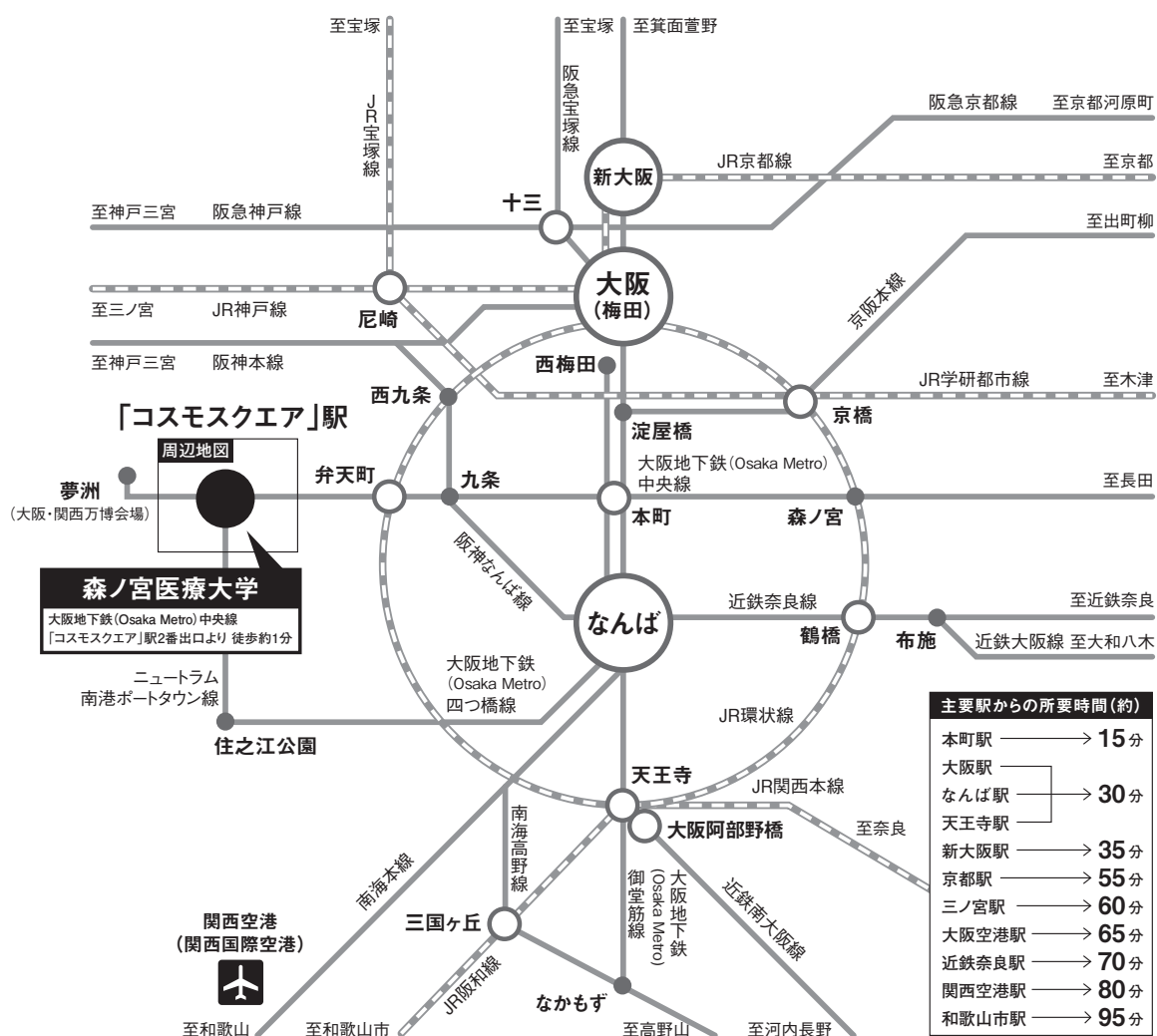
1 最寄り駅

大阪地下鉄（Osaka Metro）中央線
コスモスクエア駅2番出口より 徒歩1分

1 周边地图



■ 路線図



お問い合わせ先 [E-mail] exam@morinomiya-u.ac.jp

〒559-8611 大阪市住之江区南港北1-26-16 [TEL] 06-6616-6911 [FAX] 06-6616-6912 <https://www.morinomiya-u.ac.jp>